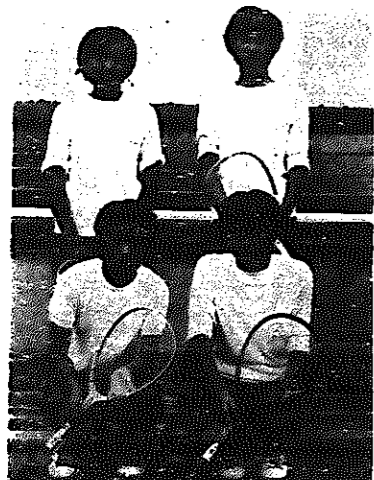


吹きあれる一中旋風!

全日本中学生庭球選手権大会
佐藤・遠藤組が3位に

8月18日、東京で行われた第8回全日本中学生軟式庭球選手権大会に第一中・女子庭球部の佐藤・遠藤組が出場、見事3位入賞を果たしました。本大会で、本県選手が入賞したのはこれが初めて。高校・一般を通じては、実に13年ぶりのことだそうです。

このほか同部は、県大会団体戦に優勝。北信越大会でも、佐藤・遠藤組、風間・広沢組がそれぞれ3位に入賞しました。



〔後列〕 向って左=佐藤さん、右=遠藤さん
〔前列〕 向って左=風間さん、右=広沢さん

また、県総体では、卓球男子団体が3位。個人で、吉田雅美君、鶴巻文明君、藤井みゆきさんが関東大会に出場。

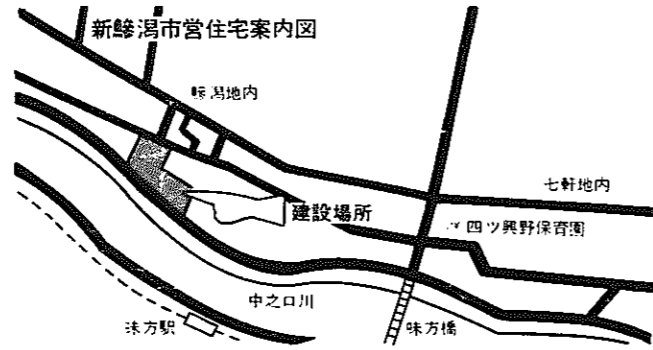
柔道は団体2位、個人は伊藤一人君が軽量級優勝、小山忠君が中量級3位に。

また、女子羽球部が、団体戦で3位になるなど、各種目で、県大会はもちろんのこと、全国大会でも一中旋風を巻き起こしました。

一戸当たりの延べ面積は五十五・四七平方メートル。コンクリートプレハブづくりの

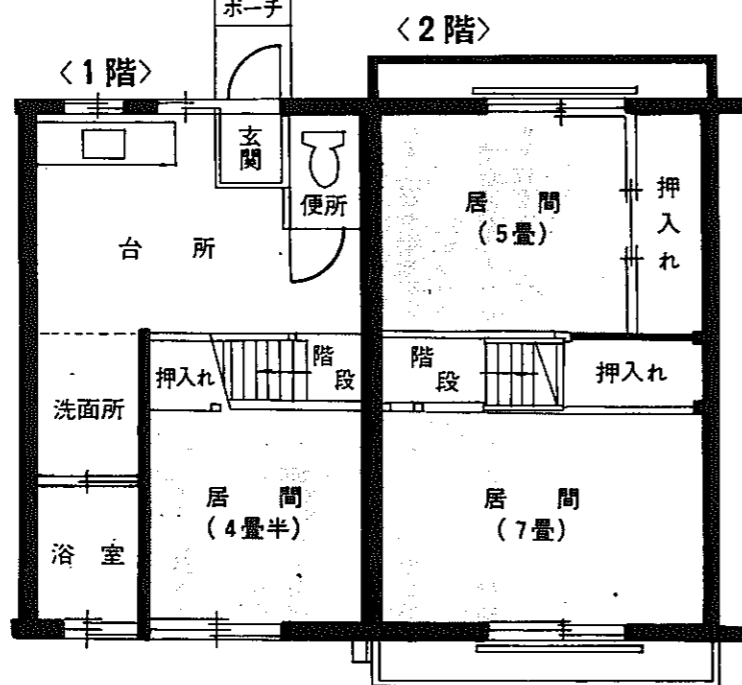
浴室も完備

所得が少なく、住宅に困っている人のために、旧鯨分場付近に市営住宅を十二戸新築します。
現在市営住宅は、菱潟、戸頭、鯨潟、新鯨潟、鯨ノ木に六十三戸あります。
今回の建設は、昭和四十年の新鯨潟住宅以来のことです。四千七百九十万円の工費で、十二月中には完成する予定です。



二階建てです。一階は四畳半の居間をはじめ、台所、浴室、便所が設けられ、二階は、七畳と五畳の二間です。
規模は、これまでの市営住宅より、少し大きくなります。
なお、新市営住宅の入居資格は、次のとおりです。
■いっしょに入居する親族(内縁関係、婚約者をふくむ)があること。
■月収が四万七千円以下(この数字は九月一日現在)の人。

平面図



鯨潟地内には市営住宅



茨曾根公民館を建設

将来は生活センターとしての機能も

いまの時代は、住民の連帯感を失わせつつある——といわれます。しかしながら、こういった

「た時こそ人と人との心のふれ合い、話し合う「時」と「場」が必要」

そこで市では、こうした活動展開の基盤を培うために、各区に公民館を新設し、皆さん自

身からまちづくり運動を進めてもらう計画を立てています。

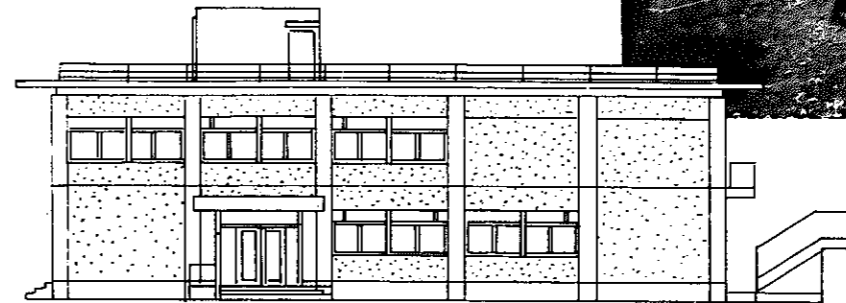
駐在室跡地を利用して

茨曾根地区公民館は、その第一号です。

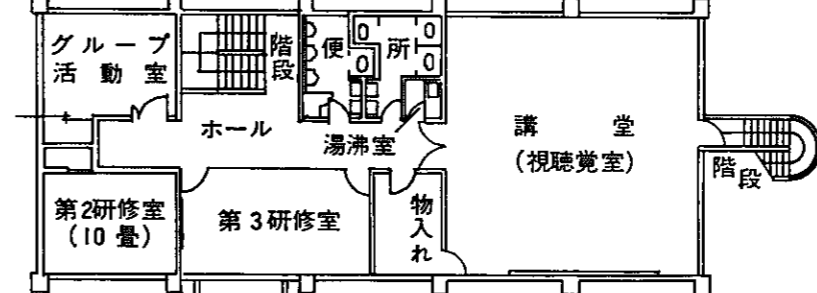
明治の後期に建てられたといわれる駐在室は、すでに取りこわされ、新しい共同社会づくりが始められました。

建物は――

立面図

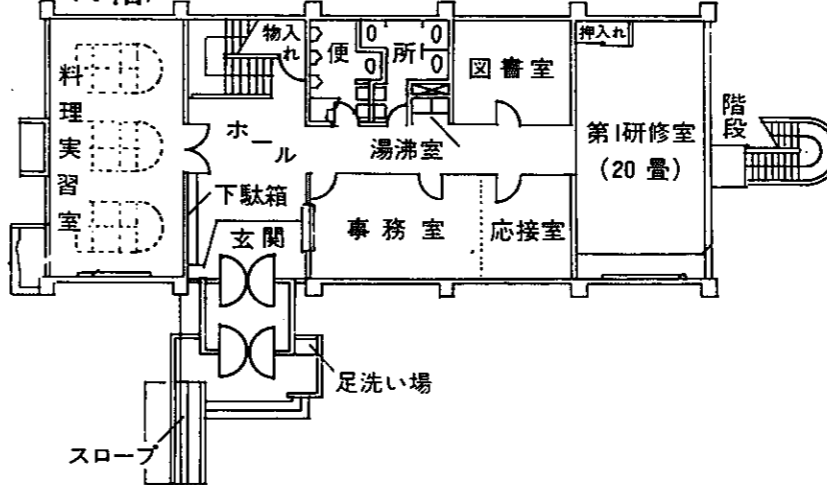


<2階>



平面図

<1階>



敷地面積 七百平方メートル
鉄筋コンクリート二階建て
建築面積 二百四十平方メートル
延べ面積 四百二十三平方メートル
玄関には、車椅子専用のスロープも……。一階は九十人を収容できる和室研修室を中心に、ロビーや調理室など。
二階にはグループやサークル専用の活動室、百四十人が研修できる視聴覚室が設けられ、一、二階の部屋を合わせると二百三十人が、同時に研修することができると。この工費は三千六十万円です。
また、将来は職員を増やし、地域生活センターとしての機能も持たせ、いままでの駐在室業務のほかに、各種団体の指導。苦情や要望を吸い上げる窓口とするなど、住民サービスをより一層充実させる考えです。